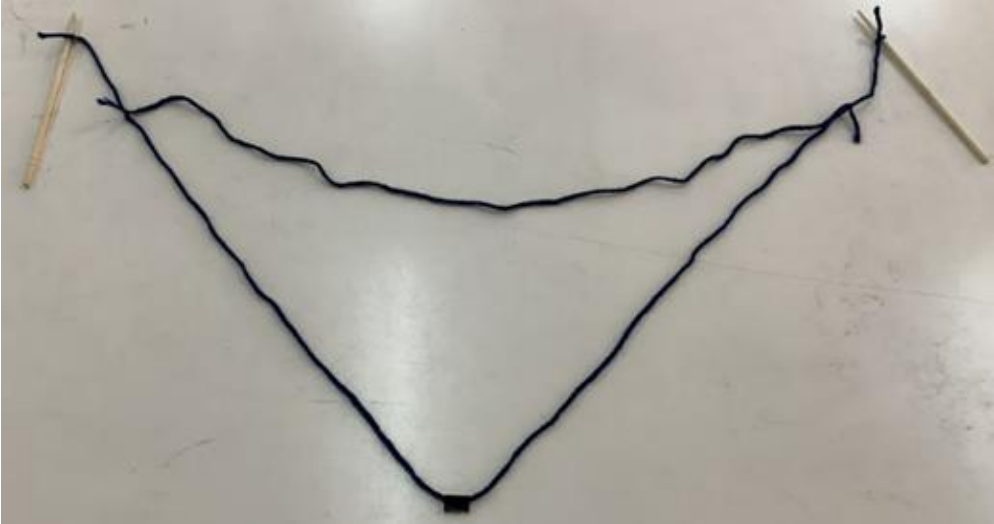


指導教科	理科
名称	大きなシャボン玉発生装置
写真	  
作り方	・子どもが広げられるだけ両手を広げたくらいの長さの紐を2本用意する。 ・割り箸や支柱など棒を2本用意し、それぞれの棒の先に1本目の紐を括り付ける。 ・2本目の紐に重りを通す。 ・今回使用した重りはクリップ。取っ手部分は外している。 ・1本目の紐の棒から10 cm位のところに2本目の紐を括り付ける。
使用方法	・割れにくいシャボン液を作り、紐部分を浸す。 ・風があれば両手を広げるだけで大きなシャボン玉ができる。
使用して	・シャボン玉にならずとも大きな膜が広がるので、「次は成功させたい」と意欲的に活動に取り組む生徒が多い。 ・シャボン液は、大きなプラスチックコップに分けて入れると待ち時間が少なく、何度も楽しむことができる。倒れない工夫は必要。泡立つと失敗しやすくなる。 ・大人がシャボン玉を作る場合は支柱など長い棒を使い、紐を長くすることで、より大きなシャボン玉を作ることができる。 ・多くの子どもたちが興味を持って、楽しそうに活動する姿が見られた。